

令和6年2月9日

関係各位

報告者：松本有右

## 本年1月1日16時に発災した能登半島地震被災地<sup>o</sup>における 東京都薬剤師会第9班(輪島班)の災害支援活動報告

●**期間**：令和6年2月2日(金)から2月6日(火)(第9班としての輪島市ふれあい健康センターでの実質活動は2月3日から2月5日まで3日間、6日の午前中は第10班に引き継ぎ)

●**支援活動場所(本部)**：輪島市ふれあい健康センター(写真1)

東京都薬剤師会第9班(男性3名)：松本有右、秋山滋男、中村俊幸、山梨県薬剤師会MP班(男性2名)、新潟県薬剤師災害支援班(3名、内女性1名)及び佐賀県薬剤師災害支援班(3名内女性1名)の計11名(写真2)がワンチーム(輪島班)として活動した(全体チームリーダーは松本が務めた。)

●**宿泊先(本部)**：羽咋市の国立能登青少年ふれあいの家(写真3)

●**2月2日(金)；曇/晴・・・天候は比較的良好**

・自宅を9時に出発、地元路線バス(京王バス)停留所のみなみ野中央からJR八王子みなみ駅へ、JR横浜線とJR中央線を乗り継いで東京駅に10時30分に到着。

・東京駅東北・上越・北陸新幹線北乗り換え口にて、東京都薬剤師会第9班メンバー3名及び東京都薬剤師会の貞松常務理事、河野事務局長、災害担当の三浦課長と待ち合わせ、3名の往復の新幹線の切符とCO<sub>2</sub>濃度測定器2台を受取り、11時24分発の「はくたか」に乗車し、14時17分JR金沢駅に到着した。

・JR金沢駅から徒歩10分の石川県薬剤師会事務所(石川県薬事センター(写真4))に14時30分到着。少し打ち合わせを行い、15時20分に石川県薬剤師会がチャータした自家用車(エルブランド(写真5))に乗り込み、宿泊先(本部)のある羽咋市の「国立能登青少年ふれあいの家」に向かった。

18時に到着、休息。20時からの日薬主催の全体会議(25名程度)(写真6)

に20分間出席し、その後、20時30分からお弁当(JR金沢駅で14人分購入)を食べながら、14名で一部引継ぎ、交流を行った。

●**2月3日(土)；曇/晴・・・天候は比較的良好**

・5時起床、5時半過ぎに車に乗り込み、支援活動場所(本部)のある輪島市ふれあい健康センターに向かう。

・8時10分に輪島市ふれあい健康センターに到着。

・9時に輪島市ふれあい健康センターの薬剤師班本部にて、東京都薬剤師会第8班(輪島班)から第9班(輪島班)に引き継ぎが行われた。東京都薬剤師会第8班(輪島班)は11時に撤収。

・9時に東京都主催の「ふれあいセンター朝会(写真7)」に班長として参加。簡単な打ち合わせ後、それぞれの班員は活動を開始。

・10時30分：TMA T(徳州会災害医療チーム)主催の医療チーム連絡会に参加。

・12時30分：輪島市役所2階のDMA T本部(写真8)にて会議に参加(昼食はコンビニ弁当)

・16時に活動を終え、宿泊先(本部)の国立能登青少年ふれあいの家に向かう。

・18時30分：国立能登青少年ふれあいの家に到着、少し休息(コンビニ弁当で夕食)

・20時：日薬主催の全体会議(25名程度)に出席。

・20時30分：10名程度で雑魚寝する場所である宿泊部屋(C10)にて11名で明日の活動内容を含めて、ミーティング・交流会を実施。

・23時30分：就寝

#### ●2月4日(日) 曇/晴・・・天候は比較的良好

・5時起床：5時半に車に乗り込み、支援活動場所(本部)のある輪島市ふれあい健康センターに向かう。

・8時：輪島市役所2階のDMA T本部にて会議に参加。

・8時40分：徒歩で輪島市ふれあい健康センターに到着。

・9時に東京都主催の「ふれあいセンター朝会」に班長として参加。

簡単な打ち合わせ後、それぞれの班員は活動を開始。

・10時30分：TMA T主催の医療チーム連絡会に参加。

・12時30分：輪島市役所2階のDMA T本部にて会議に参加。

・昼食はコンビニ弁当

・16時に活動を終え、宿泊先(本部)の国立能登青少年ふれあいの家に向かう。

・18時30分：国立能登青少年ふれあいの家に到着、少し休息(コンビニ弁当で夕食)。

・20時：日薬主催の全体会議(25名程度)に出席。

・21時：宿泊部屋(C10)にて、11名で明日の活動内容を含めて交流会。

・24時半：就寝。

#### ●2月5日(月) 曇/雪・・・15時ぐらいまで曇り、小雨。16時から雪

・5時起床：5時半に車に乗り込み、支援活動場所(本部)のある輪島市ふれあい健康センターに向かう。

・8時：輪島市役所2階のDMA T本部にて会議に参加。

・8時30分：徒歩で輪島市ふれあい健康センターに到着。

・9時に輪島市ふれあい健康センターの薬剤師班本部にて、打ち合わせ後、簡単な打ち合わせ後、それぞれの班員は活動を開始。

- ・ 9 時：東京都主催の「ふれあいセンター朝会」に班長として参加。
- ・ 10 時 30 分：TMA T 主催の医療チーム連絡会に参加。
- ・ 1 2 時半、輪島市役所 2 階のDMA T 本部にて会議(写真 8)に参加。
- ・ 昼食はコンビニ弁当。
- ・ 16 時に活動を終え、宿泊先(本部)の「国立能登青少年ふれあいの家」に向かう。
- ・ 19 時：「国立能登青少年ふれあいの家」に向かう途中定食屋で夕食をとる。
- ・ 20 時：日薬主催の全体会議(2 5 名程度)に出席。
- ・ 20 時 30 分：愛媛・香川班に引き継ぎ事項の伝達・交流会を実施。
- ・ 22 時：宿泊部屋(C10) (写真 9)にて、11 名で明日の活動内容を含めて交流会。
- ・ 22 時 30 分：就寝。

### ● 2月6日(火) 曇/晴・・・天候は比較的良好

- ・ 4 時半起床(雪の影響を考慮し早めに出発するため) : 5 時 10 に車に乗り込み、支援活動場所(本部)のある輪島市ふれあい健康センターに向かう。
- ・ 8 時：輪島市役所 2 階のDMA T 本部にて会議に参加。
- ・ 8 時 30 分：徒歩で輪島市ふれあい健康センターに到着。
- ・ 9 時：輪島市ふれあい健康センターの薬剤師班本部にて、東京都薬剤師会第 9 班(輪島班)から愛媛・香川班に引き継ぎが行われた。東京都薬剤師会第 9 班(輪島班)は 11 時に撤収。
- ・ 車に乗り込み、13 時半に石川県薬剤師会事務所(薬事センター)に到着し、車を返却。
- ・ 14 時半、JR 金沢駅ビルにて、昼食を済ませる。
- ・ 15 時 48 分の新幹線「はくたか」に乗り、17 時 52 分東京駅に到着。途中の高崎駅で秋山先生は下車、さらに上野駅で中村先生が下車した。私は JR 中央線で八王子經由横浜線に乗り換え八王子みなみ野駅で下車し、路線バスにて帰宅した。帰宅時刻は 19 時 50 分。

### 東京都薬剤師会第9班(男性3名)及び日薬輪島班(8名)のミッションと成果

- ① 災害処方箋と常用薬確認証を用いた保険処方箋のサポート
- ② 避難所(38 か所)における一般用医薬品の適正使用への関与
  - ・ 各避難所(38 か所)にある一般用医薬品の回収し、薬剤師の巡回時、個々の被災者に対して聞き取りを実施し、必要最低限の薬剤を供給することにした。
  - ・ 数か所の避難所にある日本保険薬局協会と日本ドラッグストア協会の一般用医薬品については、避難所の管理者(行政の担当者)と話をし、それら薬剤については管理者の管理下で取り扱いをして取り扱ってもらうこととした。
- ③ 公衆衛生(薬事衛生)的観点から、避難所(38 か所)における空気検査(CO2 濃度の測定)と部屋の湿度を測定。ハンドソープや消毒薬の使用状況の確認。その結果に基づく換気等の指導。

**【参考】**

**医療救護活動のフェーズ（表Ⅲ-1 参照）**

- (1) フェーズ 0-1（発災直後、超急性期：災害発生後、概ね 72 時間以内）
- (2) フェーズ 2（急性期：避難所対策が中心の時期：72 時～1 週間）
- (3) フェーズ 3（亜急性期：避難所から仮設住宅等次の住まい入居までの期間：1 週間～1 か月）
- (4) フェーズ 4（慢性期：1 か月～3 か月）
- (5) フェーズ 5（中長期：3 か月以降）

**●都薬第 9 班（輪島班 3 名）が現地（輪島市ふれあい健康センター）に入ったのは、フェーズ 3 と 4 の境目**

**【表Ⅲ-1】災害時保健活動と医療救護活動の各フェーズの比較**

保健活動のフェーズ			(参考) 医療救護活動のフェーズ	
0	概ね災害発生後 24 時間以内	初動体制の確立 を目指す時期	0	発災直後 (発災～6 時間) 建物の倒壊や火災等の発生により傷病者が多数発生し、救出救助活動が開始される状況
1	緊急対策期 概ね災害発生後 72 時間以内	住民の生命・安全の確保を 行う時期	1	超急性期 (6～72 時間) 救出された多数の傷病者が医療機関に搬送されるが、ライフラインや交通機関が途絶し、被災地外からの人的・物的支援の受け入れが少ない状況
2	応急対策期 -生活の安定-	避難所対策が中心の時期	2	急性期 (72 時間～1 週間) 被害状況が少しずつ把握でき、ライフライン等が復活し始めて、人的・物的支援の受け入れ体制が確立されている状況
3		避難所から仮設住宅等次の住まいへ移行するまでの時期	3	亜急性期 (1 週間から 1 か月) 地域医療やライフライン機能、交通機関等が徐々に復旧している状況
4	復旧・復興対策期	仮設住宅対策や新しいコミュニティづくりが中心の時期	4	慢性期 (1～3 か月) 避難生活が長期化しているが、ライフラインがほぼ復旧して、地域の医療機関や薬局が徐々に再開している状況
5	復興支援期	コミュニティの再構築と地域との融合、復興住宅等への移行期間	5	中長期 (3 か月以降) 医療救護所がほぼ閉鎖されて、通常診療がほぼ再開している状況

(保健活動のフェーズ) 出典：大規模災害における保健師の活動マニュアル（全国保健師長会、平成 25 年 7 月）

(医療救護のフェーズ) 出典：災害時医療救護活動ガイドライン（東京都福祉保健局、平成 28 年 2 月）

2月2日～6日の活動拠点である  
「輪島市ふれあい健康センター」  
における輪島班11名の組織図

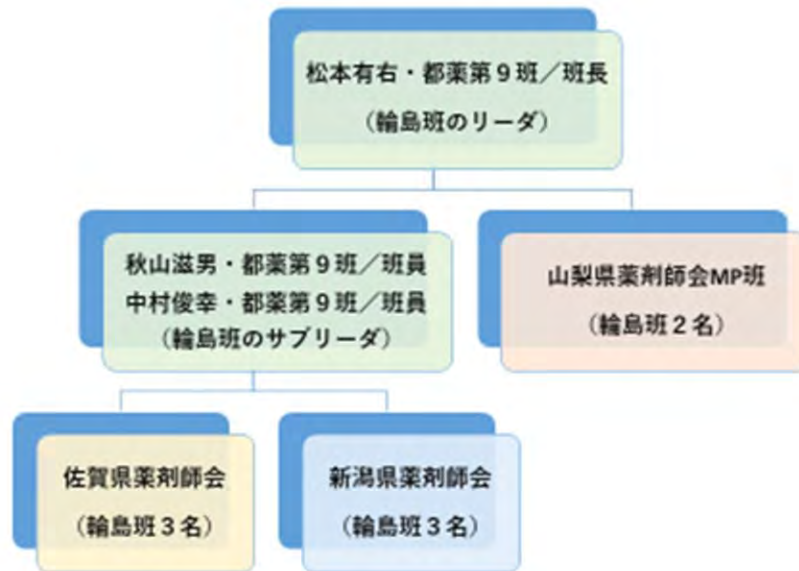


写真1 輪島市ふれあい健康センター(活動拠点/本部)





写真 2. 輪島班(都薬第9班(3名)、新潟県薬 (3名)、佐賀県薬(3名)、  
山梨県薬 MP 班(2名))と日本保険薬局協会(2名見学)



写真 3 国立能登青少年交流の家(宿泊所)



写真 4 石川県薬剤師会事務所(石川県薬事センター)



写真5 エルグランド(石川県薬事センター)



写真6 20時からの日薬主催の全体会議(25名程度)





写真7 ふれあいセンター朝会(都庁主催)



写真8 輪島市役所におけるDMAT本部会議(2F)

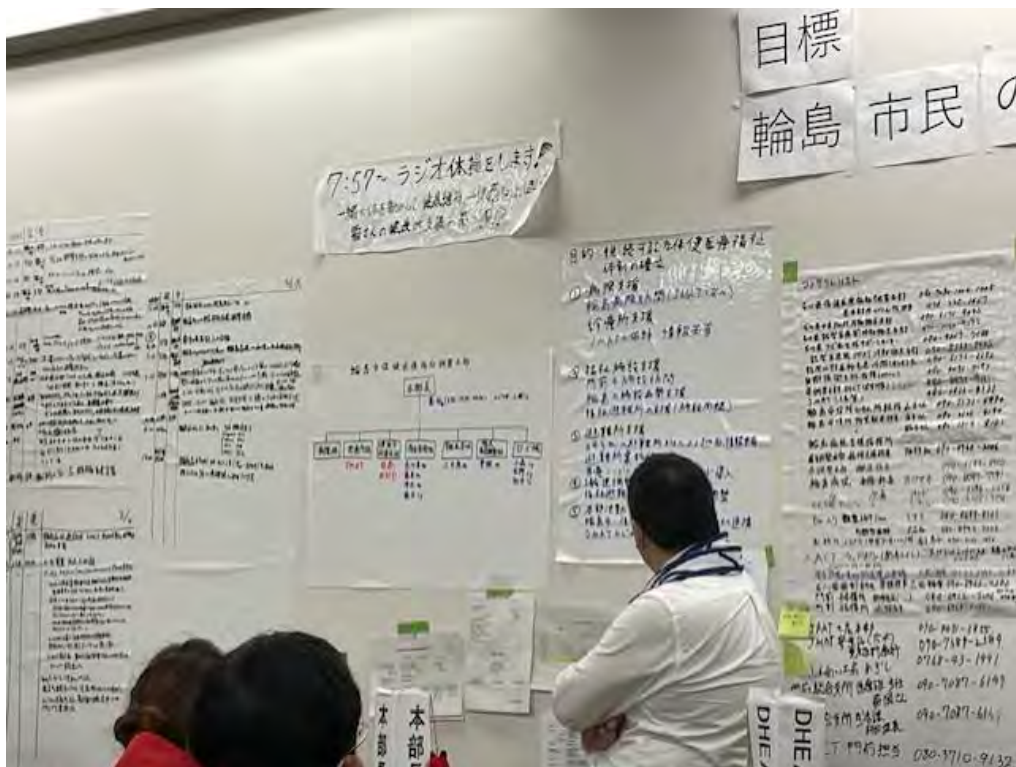


写真 9 宿泊部屋(C10)10 名程度で雑魚寝する場所



## その他の写真



MPはふれあい健康センターの裏の駐車場に常時駐車(電気は延長コードにて倉庫から確保)。この場所で災害処方箋と常用薬確認表に基づく保険処方箋は、このMP内で調剤した(山梨県薬が担当)。



テレビでよく出てきている7階建てのビルの倒壊写真。ふれあい健康センターから徒歩3分ぐらいのところ。ふれあい健康センターに向かう車の中から撮影。



テレビでよく出てきている輪島朝市の焼け跡の写真。ふれあい健康センターから徒歩5分ぐらいのところ。ふれあい健康センターに向かう車の中から早朝撮影。





ふれあい健康センターの支援薬剤師本部。2月3日午後から雑然としていたOTC薬を整理整頓(簡単な薬効別分類)している様子。



ふれあい健康センター内1階の徳州会災害医療チーム(TMT)本部。この場所で毎日、10時30分より医療者ミーティングに班長として参加。



38か所あった避難所の1か所の避難所のOTC薬保管箱の中にあつた医療用医薬品(セファレキシン)を回収してきた。

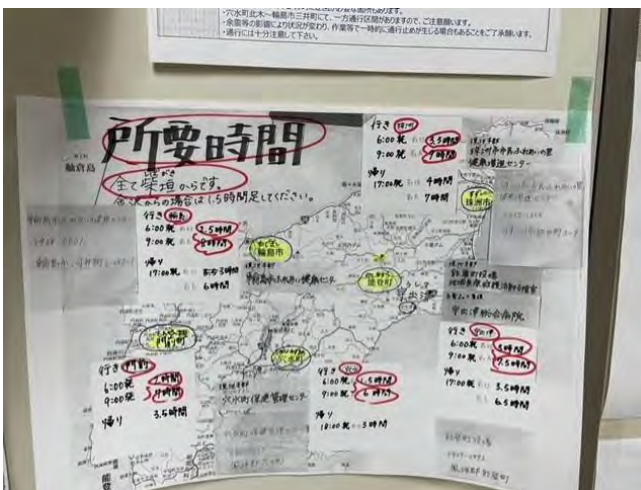




ふれあい健康センターの裏手の駐車場から撮影した写真。ふれあい健康センター自身の破損はほとんどなし、周りの建物は倒壊している建物は多数であった。



ふれあい健康センターの薬剤師本部。整理整頓（簡単な薬効別分類）された OTC 薬棚の写真。



宿泊所である羽咋市柴垣町の「国立能登青少年交流」の家から支援薬剤師活動拠点までの2月5日当時の所用時間表

- ① 門前町(行き 3 時間、帰り 3.5 時間)
- ② 穴水町(行き 1.5 時間、帰り 3 時間)
- ③ 能登町(行き 3 時間、帰り 3.5 時間)
- ④ 輪島市(行き 2.5 時間、帰り 3 時間)
- ⑤ 珠洲市(行き 3.5 時間、帰り 4 時間)









避難所(ビニールハウス)での支援薬剤師活動。被災者に対して血圧測定を実施し、血圧が高かった場合は医療機関もしくはDMATやJMATに繋いだ(受診勧奨)。

。



輪島市ふれあい健康センターにおける昼食後の輪島班(11名)の全体ミーティングの様子(中央奥が松本)。



避難所での支援薬剤師活動  
便秘の被災者にMPにて分包したOTC薬(下剤)を手渡している様子。

CO<sub>2</sub>測定器と  
ふれあい健康センター内薬剤師本部で作  
成したフェーススケール。  
各避難所において1500ppmを超えた場合、  
換気を促した。



以上